

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 1月 24日

【評価実施概要】

事業所番号	0171401201		
法人名	医療法人社団 かみゆのかわ医院		
事業所名	認知症高齢者グループホームかみゆのかわ		
所在地	函館市上湯川町38 - 14 (電話) 0138-59-3436		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年12月6日	評価確定日	平成20年1月28日

【情報提供票より】(19年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	5 人
職員数	6 人	常勤 6人, 非常勤 0人, 常勤換算 6人	

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	27,000 ~ 37,000 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(38,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	500 円	おやつ 300 円
	または1日当たり 1,400 円		

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	5 名	男性 0 名	女性 5 名
要介護1	2	要介護2	0
要介護3	2	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 84.6 歳	最低 79 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐々木病院・富田病院・セントラル脳神経外科・本間耳鼻咽喉科 他
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は函館空港に近い閑静な住宅街に立地し、少人数の定員制で利用者は家庭的な雰囲気の中で暮らしている。「心地よく、その人らしく生きること」をモットーに職員は日々のケアサービスを実践している。また、看護師が常勤しており、健康面において利用者本人・家族の安心に繋がっている。今後も利用者が自分のペースを保ちながら生活し続けることが期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題であった利用者の権利・義務の明示について、項目を立てて分かりやすく記載し、改善している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で話し合いながら自己評価を行っている。また、評価の課題に取り組み、日々のケアサービスに活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議には利用者家族・町内会役員・保健所職員などが参加し、毎回テーマを設定して意見交換を行っている。そこで出た意見を事業所の運営に活かすとともに、地域から事業所への理解をより一層深めるよう働きかけている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口を明示し、家族に説明している。また、家族の来訪時や電話連絡等の際に職員は声かけをし、家族が何でも話せる雰囲気づくりに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域の活動に参加している。また、回覧板を回す際や散歩時に近隣住民と挨拶を交わすなど、地域との交流を深めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域で生活するために「心地よく、その人らしく生きる」ことを盛り込んだ独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	居間の見やすい場所に理念を掲示するとともに、会議時に理念を確認して実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域活動に参加している。また、回覧板を回す際や散歩時に近隣住民と挨拶を交わしたりボランティアを受け入れるなど、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	月に1度のカンファレンス時に評価の意義を職員間で確認し、日々のケアサービスを振り返りながら改善に取り組んでいる。また、全職員で話し合いながら自己評価を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には利用者家族・町内役員などが参加し、事業所の運営状況や今後の課題等について話し合っている。また、そこで出た意見を事業所の運営に活かし、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の保健所職員と相談・報告等で連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月送付している便りで利用者の暮らしぶりや健康状態等を家族に報告している。また、金銭管理については通帳のコピーを提示し、家族の確認後に捺印をもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口を明示し、家族に伝えている。また、家族の来訪時に職員は声かけをし、家族が気軽に意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動等があった場合は利用者への説明を重ね、ダメージを防ぐよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は外部研修に参加する機会を多く設けており、職員は積極的に受講している。また、他事業所への見学や合同学習会などにより、質の向上に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>2ヶ月に1度のブロック報告会で同業者と交流し、情報交換をしながらサービスの質の向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族に事業所を見学してもらったり、職員が利用者宅を訪問するなど、徐々に事業所の雰囲気馴染めるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>炊事や掃除など職員は利用者から教えてもらったり励ましてもらうことが多く、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の生活歴を把握し、家族と相談しながら本人の希望・意向の把握に努めている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人・家族の意見を取り入れ、全職員で話し合い介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の記録を基に利用者の状態を把握し、定期的に見直しを行うとともに、状態変化に応じて新たな介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>年末年始やお盆などの外泊時の送迎や通院時の付き添い・利用者家族の宿泊など、柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	母体法人である医療機関での受診支援を行っている。また、歯科や眼科の訪問診療や複数の協力医療機関と連携を取っており、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	家族・医師・看護師を交えて重度化・終末期の対応についての方針を話し合い、情報を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者の誇りを損ねることのないような声かけを心がけており、常に穏やかな対応である。また、個人情報等の保管場所が定められており、適切に対応している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者のその日の体調や気分を考慮し、一人ひとりの希望に応じて支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力に応じて食事の準備や後片付けなどを、職員が見守りながら一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調を考慮し、一人ひとりの希望に沿った入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	居室の掃除や洗濯物たたみなど、一人ひとりの力に応じた役割ごとの支援を行っている。また、朝の掃除・食事の準備は全利用者と職員が一緒に行うなど、楽しみながら行えるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・外食・ドライブなど、積極的に戸外に出掛けられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の立地上、安全確保のため家族の同意のもとで日中も施錠している。	○	今後、職員が見守るとともに地域住民からも協力が得られるよう働きかけ、日中は鍵をかけないケアに取り組むことが期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、避難訓練を実施している。また、消防署員が月に1度事業所の見回りに訪れたり、全職員が消火器の使用方法を学ぶなど、緊急時の体制が整っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を利用者の状態に合わせ個別に記録しており、職員は情報を把握している。	○	今後、記載方法を工夫し継続的に記録し、全職員が把握することが期待される。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には季節ごとの花が飾られたり、カレンダーが貼られるなど、利用者が季節感を感じられるよう工夫している。また、音・光にも配慮しており、利用者が居心地良く過ごせる空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や家族の写真が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。